

令和元年度 第 19 回 生活体験発表会 あいさつ

言葉には力があります。

私たちが発するひと言が、絶望している人に希望を与えることも、逆に心に棘（とげ）のようにつきささっていつまでもチクチク痛むこともあります。

というお話を、去年の生活体験発表会のあいさつの際にしました。

今年は、「言葉のキャッチボール」というお話をします。

言葉には、発する人の「気持ち」や「思い」が宿っています。ところが、自分の「気持ち」や「思い」を言葉で伝えることはなかなか難しいものです。時々、話し手と聞き手の間で、行き違いや誤解が生まれます。みなさんにも経験があるのではないのでしょうか。

しかし、言葉の行き違いや誤解を解くことができるのも言葉です。自分の気持ちや思いをもう少し丁寧に相手に伝え直してみる。相手に、「あなたの言葉で私はこんな気持ちになった」ということを正直に伝えてみる。そして、相手からそんな言葉を受け取ったら、自分も誠実に言葉にして伝える。そんな、言葉のキャッチボールができる人になってほしいと思います。

今日の生活体験発表会では、8名のみなさんが自分の体験を自分の言葉で全校生徒に伝えます。「その気持ち、わかる」「私と少し考えが違うな」など、発表者の言葉を聞き手の皆さんもしっかりと受け止めてください。そして、「あなたの言葉を受け取ったよ」というメッセージとして、大きな拍手を送ってください。

最後になりましたが、ご来賓のみなさま、保護者のみなさま、本日はご来場いただきありがとうございます。香風生の思いや願い、決意の言葉を、一緒に受けとめていただければ幸いです。

以上で開会のごあいさつとさせていただきます。

令和元年 6 月 27 日

県立西宮香風高等学校
校長 石川 照子